

創傷被覆材 アクアセル[®]Ag シリーズ【保険適用】

創を清浄にし、創傷治癒を促進する
 ハイドロファイバー[®] テクノロジー



ガーゼの約7~8倍の水分吸収力(自重の約25倍)¹

ハイドロファイバー[®]は滲出液を吸収しゲル化します。細菌や炎症細胞などを含む滲出液をファイバー内部に閉じ込め^{2,3}、創治癒に貢献します⁴。



さらに、銀イオンの抗菌効果をプラス



銀イオンの抗菌効果を創傷被覆材に応用

銀は、イオン状態 (Ag⁺) の場合に限り強い抗菌効果を発揮します。抗菌スペクトルも広くその効果は、約1ppmの濃度⁵で多くの細菌に抗菌作用を示します。銀は創の感染コントロール^{6,8}や再感染防止のために用いられてきました。

Agイオンによる抗菌効果
 吸収量と強度のあるシートタイプ

アクアセル[®]Ag Extra



特定保険医療材料

形状	規格	包装	注文番号	保険償還単位 / 枚
シート状	5×5cm	10枚 / 箱	00426	25cm ²
	10×10cm	10枚 / 箱	00427	100cm ²
	15×15cm	5枚 / 箱	00428	225cm ²
	20×30cm	5枚 / 箱	00429	600cm ²

保険適用

医療機器承認番号：22600BZX00199000 医療用品(4)整形用品
 高度管理医療機器 抗菌性創傷被覆・保護材 JMDNコード：34614000

機能区分	償還価格 2020年4月1日現在
皮下組織に至る創傷用(標準型)	10円/cm ²

● 保険請求のながれ

アクアセル[®]Ag Extra・アクアセル[®]Ag フォームは

皮下組織に至る創傷用(標準型)です。

医師が創傷の深さを評価し、

皮下組織に達していると判断し、創傷処置に使用した場合に

レセプトによる保険請求が可能です。

● レセプト(診療報酬明細書)記入例

保険請求は創傷の大きさを適切に覆うことのできる規格1枚単位です。

記入例:創傷処置(100cm²未満)52点x3回の場合

40処置	処置	52x3回...156	40	創傷処置 52x3回 皮膚潰瘍:皮下組織に至る 創傷被覆材・皮下組織に至る創傷用(標準型) アクアセルAgフォーム粘着式12.5x12.5cm (保険償還単位72.25cm ² /枚) 72.25cm ² x10=722.5 723x3
------	----	-------------	----	---

※創傷の深さを明記していただくことが望ましい

Agイオンによる抗菌効果
 カバードレッシング不要のフォームタイプ

アクアセル[®]Ag フォーム



特定保険医療材料

粘着式	全体サイズ	パッド部分	包装	注文番号	保険償還単位 / 枚	
シート状	8×8cm	5.5×5.5cm	10枚 / 箱	09675	30.25cm ²	
	10×10cm	7×7cm	10枚 / 箱	09676	49cm ²	
	12.5×12.5cm	8.5×8.5cm	10枚 / 箱	09677	72.25cm ²	
四角形タイプ	17.5×17.5cm	13.5×13.5cm	10枚 / 箱	09678	182.25cm ²	
	21×21cm	17×17cm	5枚 / 箱	09679	289cm ²	
長方形タイプ	25×30cm	19×24cm	5枚 / 箱	09682	456cm ²	
	踵部用	19.8×14cm	14×8.7cm	5枚 / 箱	09680	121.8cm ²
	仙骨部用	20×16.9cm	13.5×11.4cm	5枚 / 箱	09681	153.9cm ²
非粘着式	全体サイズ	パッド部分	包装	注文番号	保険償還単位 / 枚	
	5×5cm	5×5cm	10枚 / 箱	09670	25cm ²	
四角形タイプ	10×10cm	10×10cm	10枚 / 箱	09671	100cm ²	
	15×15cm	15×15cm	5枚 / 箱	09672	225cm ²	
	20×20cm	20×20cm	5枚 / 箱	09673	400cm ²	
長方形タイプ	15×20cm	15×20cm	5枚 / 箱	09674	300cm ²	

保険適用

医療機器承認番号：22500BZX00539000 医療用品(4)整形用品
 高度管理医療機器 抗菌性創傷被覆・保護材 JMDNコード：34614000

使用目的、効能または効果

皮下脂肪組織までの創傷(Ⅲ度熱傷を除く)に対する「創の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。

本品は感染を引き起こす可能性が高く、滲出液を伴う創傷に使用すること。

保険適用

皮膚欠損創傷被覆材 皮下組織に至る創傷用 標準型

適用期間：2週間を標準とし、特に必要と認められる場合については3週間を限度とする。

保険請求：償還価格による。

※ご使用前には添付文書を必ずお読みください。

参考文献

- ConvaTec. Aquacel Hydrofiber Wound Dressing. Figure 3a: Fibrous Products-Saline absorbency characteristics. Data on File, ConvaTec.1998.
- Walker M, Hobot JA, Newman GR, Bowler PG. Scanning electron microscopic examination of bacterial immobilisation in a carboxymethyl cellulose (Aquacel[®]) and alginate dressings. *BIOMATERIALS*. 2003;24(5):883-890.
- Bowler PG, Jones SA, Davies BJ, Coyle E. Infection control properties of some wound dressings. *JOURNAL OF WOUND CARE*. 1999; 8(10): 499-502.
- Cornelia D, Richters, et al. Effects of a Hydrofiber Dressing on Inflammatory cells in Rat Partial-Thickness Wounds. *WOUNDS*. 2004;16(2):63-70.
- Walker M, Cochrane CA, Bowler PG, et al. Silver Deposition and Tissue Staining Associated with Wound Dressing Containing Silver. *Ostomy/ Wound Management*. 2006; 52(1): 42-50.
- A.B.G. Lansdown. Silver I: its antibacterial properties and mechanism of action. *JOURNAL OF WOUND CARE*. 2002; 11(4): 125-130.
- Robert H. Demling, Leslie DeSanti. Part 1: Effects of Silver on Wound Management. *WOUNDS*. 2001; 13(1): 4-14.
- P.G. Bowler, S.A. Jones, M. Walker, D. Persons. Microbicidal Properties of a Silver- Containing Hydrofiber[®] Dressing Against a Variety of Burn Wound Pathogens. *JOURNAL OF BURN CARE AND REHABIL*. 2004; 25(2): 192-196.

アクアセル[®]Ag シリーズ【使い方】

貼付前の準備

- 必要に応じて創部を消毒後、生理食塩液等で洗浄し創周囲の健常皮膚を清拭してください。
- 創傷滲出液が少なく、ゲル化が十分に起こらないと予想される場合には、あらかじめ生理食塩液等で本品を湿らせてゲル状にしてから使用してください。
- ご使用前には添付文書を必ずお読みください。

アクアセル[®]Ag Extra の貼付方法



① 創周囲の健常皮膚を被覆できる大きさの本品を選び直接貼付する。



② 本品の上からガーゼやフィルムドレッシングで被覆、固定する。



③ 固定のテープやフィルムが浮かないよう密着させる。



④ 滲出液の漏れが起こる前、またはドレッシングの外側から滲出液の広がりが観察された時点で本品を交換する。

アクアセル[®]Ag フォームの貼付方法

創傷および創周囲の皮膚が清潔であることを確認します。創を適切に洗浄し、周囲皮膚を十分に乾かしてください。



① 吸収性パッド部が、創より周囲約1cmの余白を持たせるサイズを選択する。粘着式を使用する場合は剥離紙をはがす。



② 被覆材の中心を創の中心に合わせ、吸収性パッドが直接創に当たるよう創に本品を密着させる。非粘着式や粘着式をカットして使用する場合は、包帯やテープで本品を固定する。



③ 滲出液がフォーム層を超えて、表面から滲出液の染みが確認できるようになったら交換する。

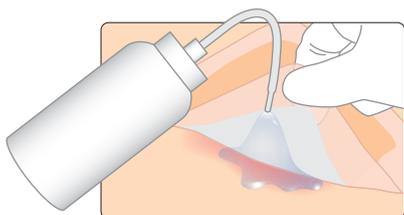
固着時の剥がし方

～上皮化の段階において、創が乾燥傾向になった際の対処法～

固着したドレッシング材を無理に剥がすと出血および創の二次損傷を引き起こす可能性があります。デュオアクティブ[®]シリーズなど創傷の乾燥を防ぐ創傷被覆材をお選びください。

対処法(生理食塩水等を使用)

ドレッシング材を生理食塩水で浸軟させ、十分に再ゲル化してから除去する。(シャワー・入浴により行うことも可能)



対処法(固着が強い場合)

アクアセル[®]Agフォームの場合は、表面に切込みを入れてワセリン等を塗布しフィルムで覆う(写真)。1～2日程度おいてから愛護的に除去する。



写真提供
兵庫県立加古川医療センター 櫻井敦



創を傷つけないようご注意ください



©はConvaTec Inc.の登録商標です。© 2020 ConvaTec Inc.